

路

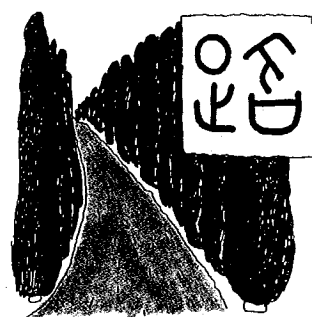
おんじ

3年

13画
フ フ 足 路 路

右へはらう

なりたち 連絡の絡の意味の各と足の会意形声字。主要な道と道を連絡する「みち」を表した字。今は広く「みち」の意味に使う。転じて、「行き方・やり方・大切な役」などの意味に使われる。



いみじゆく

▼みち。道路…みち。通路…通りみち。街路…町(街)のみち。例街路樹(見た目に快いやすらぎを与え、保安にも役立つようにと街路に植える木)。帰路…帰りみち。帰る時。例往路。岐路…わかれみち。難路…行くのが難しい、険しいみち。▼物事の筋道。理路…理論の筋道。例理路整然とした文章。(よく筋道に通っている文章。)▼大切な役。要路…①重要な地位。例要路の人物に面会する。②重要な道路。例交通の要路。よみかた 路地・路上・路線・家路・旅路・山路

露

おんろ

21画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

右へはらう

なりたち 雨と路(みち)との会意形声字。大気中の水蒸気が冷えて路面に雨のような水滴となった「つゆ」を表した字。「つゆに当てる」という言い方から「さらす・外にあらわす」という意味に使われる。



いみじゆく

▼つゆ。雨露…①雨と露。②大きな恵み。(雨と露が万物をうるおすことから。)例雨露の恩(計り知れぬ大きな恩恵)。命…露のように、はかないとか生きながらえる。▼さらす。露営…軍隊が家の外で陣営を張ること。野営。露店…店を構えず、道ばたにごさなどを敷いて商う店。露天…屋根のない所。▼外にあらわす。あらわれる。露見…隠しておいたことが、あらわれること。例悪事が露見する。暴露…隠しておいたことを、あばくこと。よみかた 露払い・露地・露出・露呈・披露・夜露

止

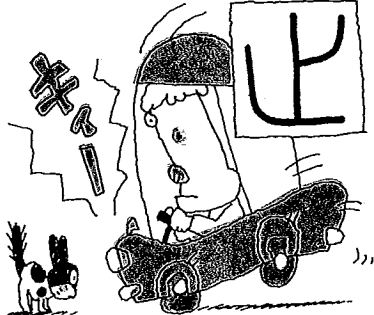
おんし

2年

4画
一 ト 止 止

ながく

なりたち 人が立ちどまる足の裏の形をかたどった字で「立ちどまる」ことを表した指事字。「どまる」こと。また、「どめる」こと。また、「やめる」という意味にも使われる。



いみじゆく

▼どまる。静止…静かにとまって動かさないこと。止水…とまっている水。例明鏡止水(曇りのない鏡と、静かに澄んだ水。落ちついて曇りのない心境のたとえ)。▼どめる。やめる。中止…途中でやめること。例雨が降って来たので運動会は中止になった。休止…途中で一時やめること。廃止…やめて、もうしなくなる。例古い制度を廃止すること。止する。禁止…してはいけないと止めること。防止…よくないことが起こらないように防ぎ止めること。よみかた 止血・止宿・停止 さんこう 特別なよみかた ↓ 波止場

路露

止歩

歩

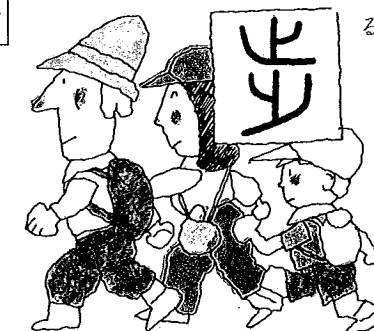
おんぷ

2年

8画
一 ト 止 止 止 止

はらう

なりたち 旧字体は歩。止とその対称形の止との会意字。左足と右足を上下に並べた形で「あるく」ことを表したものである。少は旧字体では少で、「すくない」とは別字である。



いみじゆく

▼あるく。歩行…あるくこと。例歩行者。徒歩…乗り物にのらず、足であるくこと。例徒歩旅行。散歩…景色を見たり、気分転換をしたりするために、外に出て気ままに歩くこと。遊歩…散歩。気ままにぶらぶら歩くこと。例遊歩道。独歩…①ひとりだけで歩くこと。②人に頼らず自分だけの力でやっていくこと。例独立。独歩…③比べるものがないほどすぐれていること。例古今独歩。進んで行くこと。進歩…良い方へ進んで行くこと。例退歩。命…国が進んで行く先の運命。よみかた 歩合・歩調・歩道・歩幅・牛歩・日進月歩・日歩